

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 26 年 7 月 3 日 (2014.7.3)

【公開番号】特開 2013-125852 (P2013-125852A)
 【公開日】平成 25 年 6 月 24 日 (2013.6.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-033
 【出願番号】特願 2011-273603 (P2011-273603)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 31/05 (2014.01)

【F I】

H 0 1 L 31/04 C

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 15 日 (2014.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【特許文献 1】特開 2 0 1 1 - 1 5 1 2 6 2 号公報

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

統括制御部 3 9 は、撮像部 3 7 で撮像された電極パターン 1 6 の存在部位に係るセル側標識 1 5 m の画像情報に基づくセル 1 5 の現在位置を、撮像部 3 7 で撮像された配線パターン 1 4 の存在部位に係る配線シート側標識 1 3 m の画像情報に基づくセル 1 5 の目標組付位置に合わせるように、回転体 2 7 が設けられた反転駆動部 3 1 の位置または姿勢の少なくともいずれかを、位置・姿勢調整部 3 3 を用いて調整させる制御を行う機能、および、配線シート 1 3 に係る配線パターン 1 4 とセル 1 5 に係る電極パターン 1 6 との相対位置関係を整合させた状態で、配線シート 1 3 に対してセル 1 5 を、位置・姿勢調整部 3 3 を用いて組み付けさせる制御を行う機能を有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

ボビン保持体 7 2 は、配線シートロール 1 3 r を回動自在に支持するボビン 7 1 を保持する機能を有する。ボビン保持体 7 2 は、通常時において、第 1 のボビン移送体 7 3、または、第 2 のボビン移送体 7 7 のいずれかに積載された状態で移送される。図 3 G ~ 図 3 I に示すボビン保持体 7 2 は、第 1 のボビン移送体 7 3 に係る複線レール 7 3 a (図 3 F 参照)、または、第 2 のボビン移送体 7 7 に係る複線レール 7 7 a (図 3 F 参照)に沿って走行する際に用いる車輪部 7 2 a と、車輪部 7 2 a が四隅に取り付けられた底板 7 2 b と、底板 7 2 b から逆 L 字形状に立ち上がる側板 7 2 c と、側板 7 2 c の後方側 (配線シート 1 3 が引き出される側を基準とする。以下、同じ。)に回動自在に支持される案内口

ール 7 2 d と、案内口 ール 7 2 d の前方側に設けられた第 1 および第 2 の案内板部 7 2 e , 7 2 f とを備えて構成されている。

なお、第 1 および第 2 の案内板部 7 2 e , 7 2 f には、図 3 G に示すように、空気の負圧によって配線シート 1 3 を吸着固定するための複数の空気孔 7 2 g が、配線シート 1 3 の幅方向に対応する位置に開設されている。また、第 2 の案内板部 7 2 f の前方側には、シート切断部 2 5 が設けられている。